



平成27年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年8月6日

上場会社名 株式会社イメージワン 上場取引所 東
 コード番号 2667 URL <http://www.imageone.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高田 康廣
 問合せ先責任者（役職名） 取締役管理部長（氏名） 鶴飼 良一 (TEL) 03-6233-3410
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年9月期第3四半期の業績（平成26年10月1日～平成27年6月30日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	842	△22.4	△78	—	△98	—	△102	—
26年9月期第3四半期	1,085	15.6	△42	—	△48	—	△37	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
27年9月期第3四半期	△29.37		—					
26年9月期第3四半期	△10.75		—					

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。平成26年9月期第3四半期の1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年9月期第3四半期	1,010	—	536	—	52.9	—
26年9月期	929	—	429	—	46.2	—

(参考) 自己資本 27年9月期第3四半期 534百万円 26年9月期 429百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年9月期	—	0.00	—	—	—
27年9月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年9月期の業績予想（平成26年10月1日～平成27年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	1.3	50	247.3	35	513.5	30	103.5	8.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年9月期3Q	3,951,100株	26年9月期	3,521,100株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

27年9月期3Q	74,500株	26年9月期	74,500株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年9月期3Q	3,497,877株	26年9月期3Q	3,446,600株
----------	------------	----------	------------

(注) 平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、平成26年9月期3Qの期中平均株式数(四半期累計)につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定して株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復を続けております。企業収益が改善するなかで、景況感は総じて良好な水準で推移しており、設備投資は緩やかな増加基調にあります。一方、公共投資は、高水準ながら緩やかな減少傾向に転じております。個人消費は、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、全体としては底堅く推移しており、住宅投資も持ち直しつつあります。先行きにつきましても、景気は緩やかな回復を続けていくとみられております。

このような経営環境において、当社は平成27年9月期の事業方針を医療画像事業の事業基盤強化に置き、ConnectioRIS[®]、ConnectioReport[®]、ConnectioMed[®]などの商品力強化と併せ、PACS[®]と連携提案した営業強化を行い、今期新設した九州営業所による九州地区での事業展開拡大を目指してまいりました。

また、衛星画像事業においては、大幅に縮減した画像販売事業を補うべく、UAV[®]、Pix4Dmapper[®]の販売に注力してまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間における経営成績は、売上高842百万円（前年同期比22.4%減）、営業損失78百万円（前年同期は42百万円の損失）、経常損失98百万円（同48百万円の損失）、四半期純損失は102百万円（同37百万円の損失）となりました。

(※1) ConnectioRIS：放射線部門情報システム、(※2) ConnectioReport：放射線部門レポートシステム

(※3) ConnectioMed：診療情報統合システム、(※4) PACS：医療画像保管・配信・表示システム

(※5) UAV：小型無人飛行機、(※6) Pix4Dmapper：自動オルソモザイク&3D処理ソフトウェア

セグメント別の概況は以下のとおりです。

医療画像事業

当第3四半期累計期間の医療画像事業セグメントは、新設の九州地区においては概ね順調な推移ではあったものの、全体としては、大型システム更新案件の競争激化や受注見込み案件の契約時期遅れ等により、売上高771百万円（前年同期比17.8%減）、営業利益66百万円（同41.0%減）となりました。

衛星画像事業

当第3四半期累計期間の衛星画像事業セグメントは売上高71百万円（前年同期比51.5%減）、営業損失7百万円（前年同期は10百万円の損失）となりました。

前年同期は、安全保障分野において合計約80百万円の衛星画像売上の大型案件があったため、大幅な売上減となっておりますが、UAVやPix4Dmapperの収益寄与により営業損失は改善しております。引き続き、展示会等で引合いの多い見込み顧客への営業を強化してまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、792百万円（前事業年度末比8.2%増）となりました。これは、現金及び預金が141百万円増加、売掛金が98百万円減少したこと等によります。

固定資産は、218百万円（同11.0%増）となりました。これは、ソフトウェア仮勘定が55百万円増加、ソフトウェアが23百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、1,010百万円（同8.8%増）となりました。

(負債)

流動負債は、216百万円（前事業年度末比31.5%減）となりました。これは、買掛金が116百万円減少したこと等によります。

固定負債は、257百万円（同40.1%増）となりました。これは、長期借入金が77百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、474百万円（同5.2%減）となりました。

(純資産)

純資産合計は、536百万円（前事業年度末比25.1%増）となりました。これは、第三者割当増資等により資本金が103百万円増加、資本剰余金が103百万円増加したこと、また、利益剰余金が102百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年9月期（通期）の業績予想につきましては、平成26年11月10日付「平成26年9月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,198	432,004
受取手形及び売掛金	379,137	281,992
商品	24,221	29,187
仕掛品	9,194	20,802
貯蔵品	780	317
前渡金	12,148	1,667
その他	16,727	26,439
貸倒引当金	△128	△95
流動資産合計	732,280	792,315
固定資産		
有形固定資産	40,656	40,446
無形固定資産		
ソフトウェア	50,171	26,252
その他	49,561	98,462
無形固定資産合計	99,732	124,715
投資その他の資産		
投資有価証券	1,762	1,762
その他	54,687	51,529
投資その他の資産合計	56,449	53,291
固定資産合計	196,838	218,454
資産合計	929,118	1,010,769
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,007	61,836
1年内償還予定の社債	14,200	14,200
1年内返済予定の長期借入金	38,352	78,852
未払法人税等	8,045	1,900
リース債務	1,190	624
製品保証引当金	15,966	8,633
その他	60,362	50,407
流動負債合計	316,125	216,455
固定負債		
社債	50,300	43,200
長期借入金	132,346	210,241
リース債務	-	2,381
退職給付引当金	1,218	1,752
固定負債合計	183,864	257,574
負債合計	499,989	474,030

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年9月30日)	当第3四半期会計期間 (平成27年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	949,601	1,053,492
資本剰余金	92,599	196,490
利益剰余金	△500,953	△603,673
自己株式	△111,949	△111,949
株主資本合計	429,297	534,360
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	△168	-
評価・換算差額等合計	△168	-
新株予約権	-	2,379
純資産合計	429,129	536,739
負債純資産合計	929,118	1,010,769

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年6月30日)
売上高	1,085,562	842,849
売上原価	781,172	558,922
売上総利益	304,390	283,927
販売費及び一般管理費	346,622	362,662
営業損失(△)	△42,232	△78,735
営業外収益		
受取利息	9	22
受取配当金	520	150
有価証券利息	4,177	-
その他	141	34
営業外収益合計	4,848	206
営業外費用		
支払利息	3,062	3,156
為替差損	63	695
支払手数料	7,856	8,266
株式交付費	-	3,642
新株予約権発行費	-	4,046
その他	247	290
営業外費用合計	11,229	20,097
経常損失(△)	△48,613	△98,625
特別利益		
移転補償金	37,044	-
特別利益合計	37,044	-
特別損失		
本社移転費用	22,140	-
特別損失合計	22,140	-
税引前四半期純損失(△)	△33,709	△98,625
法人税、住民税及び事業税	3,328	4,094
法人税等合計	3,328	4,094
四半期純損失(△)	△37,037	△102,720

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年5月28日付で、EBM Technologies, Inc. から第三者割当増資の払込みを受け、資本金が96,600千円、資本剰余金が96,600千円増加しております。

また、同日付で、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社に新株予約権を付与いたしました。この新株予約権の一部行使により、資本金が7,291千円、資本剰余金が7,291千円増加しております。

この結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が1,053,492千円、資本剰余金が196,490千円となっております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	939,144	146,418	1,085,562	—	1,085,562
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	939,144	146,418	1,085,562	—	1,085,562
セグメント利益又は損失(△)	112,666	△10,724	101,941	△144,173	△42,232

(注) 1 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△144,173千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期累計期間(自平成26年10月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	医療画像 事業	衛星画像 事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	771,834	71,015	842,849	—	842,849
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	771,834	71,015	842,849	—	842,849
セグメント利益又は損失(△)	66,447	△7,773	58,673	△137,409	△78,735

(注) 1 調整額に記載されているセグメント利益又は損失には各報告セグメントに配分していない全社費用△137,409千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。